

## 序

2001年7月21日、参加者数約200名という規模としてはおそらく日本で初めてのベイジアンネットに関する会議、ベイジアンネットチュートリアル BN2001 を開催します。この会議はベイジアンネットの導入、実践、理論にそれぞれ焦点をあてた3件の基調チュートリアルと、情報理論、知能ロボット、音声言語対話、遺伝子情報処理分野におけるベイジアンネットの応用研究に関する4件の招待講演、ソフトウェアの実演という内容で構成されています。

これまでベイジアンネットは人工知能をはじめとして統計学、機械学習などの分野で脈々と研究されてきました。とくに計算機の高速度化・データの大容量化と不確実性を含んだ問題領域の拡大にともない、多くの研究領域の中で期待を持って取り上げられ、最近では情報符号化の領域などで顕著な成果もあげています。ところがその学際性ゆえにこれまで日本国内では情報交換や発表の場が必ずしも十分とは言えず、こうした機会を望む声も様々な所で聞かれました。

そこで今回、ベイジアンネットに関心のある方々の情報交換、議論のきっかけとし、分野を越えた包括的な視点から不確実性を含んだ幅広い問題領域にたいするベイジアンネットの本質を探り、さらなる新しい研究や応用に向けての足がかりをつかむために、あえてチュートリアルという形で BN2001 を開催することになりました。

BN2001 を開催するにあたってはこれまで異なる分野でベイジアンネットやその周辺に関わってこられた第一線の研究者の方々に快く講演をお引き受けしていただけた上、さらに嬉しいことに当初の予想をはるかに越える数の参加者の方々にも多方面からお集まりいただきました。これまではなかなか一度に聞くことはできなかった多岐に渡る講演やソフトウェアの実演、闊達な質疑を通じて多くの参加者の方々にベイジアンネットの可能性にふれていただきたいと思います。また今後もメーリングリスト (bayesnet@m.aist.go.jp) や WWW ( <http://www.ieice.org/~ibis-tg/bn2001.html> ) などへ感想や要望などのフィードバックを返していただくことで、引き続きこうした研究交流の場の確立を目指したいと思います。

最後に BN2001 開催の機会を与えていただき、ご尽力をたまわりました北陸先端科学技術大学院大学 櫻井教授、講演者の方々、そして BN2001 に御協力、御参加いただいた全ての皆様に深く感謝いたします。そしてこの機会が皆様の活動の御発展と、近い将来その成果を発表する場での再会に向けての礎となることを願っております。

平成 13 年 7 月 29 日

佐藤 泰介

鈴木 譲

本村 陽一